

選抜方法

試 験 内 容 等		
適性検査	総合問題A	理数系の基礎的な能力を評価するため、以下の出題を行います。 1. 基礎的な数学能力を問う問題 2. データに関する基礎的な問題 3. 情報に関する基礎的な問題
	総合問題B	言語理解・言語表現の基礎的な能力を評価するため、以下の出題を行います。 1. 日本語能力を問う問題 2. 英語能力を問う問題
面接	プレゼンテーション 対話面接	思考力・判断力・表現力，主体性，および本学で学ぼうえでの適性などを 検査します。対話面接では，志望理由書や調査書などの出願書類を活用し ます。

総合型選抜 総合問題A出題ポリシー

総合型選抜における総合問題Aでは、システム情報科学分野を学ぶにあたり必要となる「学力の3要素」のうち「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を多面的・総合的に評価します。数学または情報科学に現れる様々な事項を理解して論理的に考察したり処理したりすること、さらには身近な事象の理解を深めたり問題解決といった「数学的活動」に関する基礎的な知識の理解と活用力を問います。

総合問題Aは、3つの異なる出題範囲の問題から構成されています。

1. 基礎的な数学能力を問う問題

主として「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B，数学C」の範囲から基礎的な知識の理解を問います。出題形式は、基本的な小問を5問程度出題します。

- ・数学Bの出題範囲は「数列」とします。
- ・数学Cの出題範囲は「ベクトル」とします。

2. データに関する基礎的な問題

図や表などを元にした設問により、読解，説明，推論する力などを問います。

- ・出題範囲は「数学Ⅰ」および「情報Ⅰ」とします。

3. 情報に関する基礎的な問題

情報科学の基礎（二進数の計算など）の理解，問題を解くための方法や手順を考える力，情報メディアの性質を理解し適切な表現について考える力，といった情報分野を学ぶにあたり必要となる基礎的な力などを問います。

総合型選抜 総合問題B・学校推薦型選抜 総合問題Ⅱ 出題ポリシー

大学では、教員の講義を聞いたり、日本語あるいは英語で書かれている書籍や論文を読んだりすることにより、さまざまな知識を得ていきます。また、与えられた課題の意図を正確に把握してレポートなどを作成したり、簡潔な試験答案を書いたりすることが求められます。総合型選抜における総合問題B、学校推薦型選抜における総合問題Ⅱでは、このような学習を自律的に進めていくために必要となる、言語理解・言語表現の基礎的な能力について日本語および英語の両面から問います。

1. 日本語能力を問う問題

日本語能力を問う問題では、以下の2点を評価します。これらの能力は、文系・理系にかかわらず、小学校から中学校、高等学校へと進む中で徐々に養われていくものと考えられます。

1) 論理的な思考力・理解力

- ・ 因果（原因と帰結）、相関、比較、並列、階層構造など、情報間の関係がわかる。
- ・ 情報を適切に分類できる。
- ・ 情報の抽象度の違いがわかる。
- ・ 情報の重複、話題の不整合、論理の飛躍などの文章上の問題点を発見できる。

2) 適切に説明する能力

- ・ 言葉の意味を理解し、日本語として適切な言葉・文法を用いて説明できる（語彙力）。
- ・ 文章の読み手に合わせて説明の仕方を工夫できる。
- ・ 主張・理由づけ・証拠による、説得力のある説明ができる。

2. 英語能力を問う問題

英語能力を問う問題は、高等学校学習指導要領等を踏まえながら、出題する文章と問題に独自の焦点を持たせています。おもに、科学およびデザイン、技術に関する場面において、情報や考えを理解したり伝えたりする能力を以下のおり評価します。

また、試験において、辞書の使用を認めています。文章の要になるような単語の意味がわからないときに、単語の適切な意味をその場で見出すという辞書の活用は、本学の英語教育において実践的な英語力の一つと考えるためです。

1) 読解力

- ・ 文章の要点や概要を理解する。
- ・ 質問の要点を明確にし、与えられた文章の文脈と照らし合わせて適切な答えを選ぶ。
- ・ 文章の中から特定の情報を見つける。
- ・ 論点を明確にする中で、その論点と文章の構成や図表などの関係に着目する。

2) 構成力・表現力

- ・ 自分が聞いたり、読んだり、学んだり、経験したりしたことに基づいた情報や考え方について、一貫したまとまりのある文章を書き伝える。
- ・ 与えられた文章に示された情報に基づき、論理的で明確な文章を書く。
- ・ 論点を明確にする中で、その論点と文章の構成や図表などの関係に着目する。

出題の意図と解答例（総合問題 A）

令和 8 年度入学者一般選抜（総合型選抜）試験における総合問題 A の出題の意図と解答例（略解）は以下の通りです。総合問題 A は、「基礎的な数学能力を問う問題」、「データに関する基礎的な問題」および「情報に関する基礎的な問題」から構成されています。答えが具体的に表される問題については、最終的な値のみを示していますが異なる表現もあり得ます。また、採点においては最終的な答えが正しいかどうかだけではなく、正解に至るまでの過程を論理的に正しく記述できるかといった「思考力・判断力・表現力」も含めて総合的に評価します。

出題の意図

第 1 部：

数学 I, II, A, B, C の様々な単元から選ばれた小問 5 題

- I 図形が正三角形になるための条件を知っているか、実数解の個数を判別できるか、指数関数の取り扱いができるか、与えられた区間における関数の最大値を求められるか、曲線と直線で囲まれた部分の面積を求められるか。

第 2 部：

数学 I のデータの分析に関する問題

- I 与えられたデータの平均と分散を求められるか。更に、問題文に沿って数式を構築し題意を満たす解を求められるか。

解答例 (略解)

第 1 部 :

I 問 1 $(a, b) = (1 \pm 2\sqrt{3}, 2 \pm \sqrt{3})$ (複号同順)

問 2 i) $m = 0, 8 \pm 4\sqrt{3}$ のとき 1 個,

ii) $m < 8 - 4\sqrt{3}$ 或いは $m > 8 + 4\sqrt{3}$ のとき 2 個,

iii) $8 - 4\sqrt{3} < m < 8 + 4\sqrt{3}$ のとき 0 個

問 3 $-2 \leq x \leq -1$

問 4 i) $0 < a < 2$ のとき, $x = 3$ において最大値 $4a^3 + 27(2 - a)$,

ii) $a = 2$ のとき, $x = 0, 3$ において最大値 32,

iii) $2 < a < 3$ のとき, $x = 0$ において最大値 $4a^3$

問 5 $k = 3\left(1 - \frac{1}{2^{\frac{1}{3}}}\right)$

第2部：

I 問1 $\bar{x} = 170(\text{cm}), \bar{y} = 66(\text{kg})$

問2 $s_x^2 = 38.8, s_y^2 = 25.6$

問3 5番目の学生, 理由は省略

出題の意図

情報に関する基礎的な問題

- I 2種類の圧縮方式の違いを題材として、問題文内の定義を読み解き、論理的思考力を問う。
- II 情報伝達やコミュニケーションと情報デザインとの関係について、体系的・系統的に理解する基礎能力と態度が身についているかを問う。

解答例 (略解)

情報に関する基礎的な問題

- I 問 1 (1) DDDCBBBBCAAA
(2) ABCDABCDAB
(3) きたいきたいみらいにきたい

- 問 2 (1) すも (8) のうち (6 文字)
(2) ABCBBB[3,3][9,3] (10 文字)
(3) かえるびよこ [3,3] み [7,6] (11 文字)
※ (かえるびよこびよこみ [7,6] (12 文字) や かえるびよこ [3,3] み [4,3][3,3] (13 文字) は最短ではない)

- 問 3 (1)
方式 1: A(5)B(4)A(5)B(4)
方式 2: AAAAABBBBB[9,9]
(2)
方式 1: $4n$
方式 2: $9 + 2(n - 1)$
(3) $n = 4$

II 問 1 読み手：(3) 高校教諭 (1点)

促したい行動：(3点)

- 事前説明会へ参加すること。
- 自分の高校の生徒に参加を呼びかけること。
- (自分の高校の生徒の) 参加申し込み (参加希望, 発表者) を取りまとめること。
- E-mail で申し込みを行うこと。 のうちいずれか

問 2 (1点×3 = 3点)

下線 [A] (オ) グラフ

下線 [B] (ア) 地図

下線 [C] (エ) 表

問 3 (8点)

申し込み期限を明確に伝えるため、日時の部分の文字を赤字にする。

■タイトルを付与して構造化する

・イベント参加募集のお知らせであることが伝わるようにタイトルをつける。

■ある箇所のフォント、文字サイズを工夫して構造化する

・(事前説明会の日時)(会場)を明確伝えるために、()の部分の文字(を太字にする)(を赤字にする)(に色をつける)(の書体を変更する)(のサイズを大きくする)。

■配置を工夫して構造化する

・(申し込み期限)(イベント日時)(事前説明会の日時)(申し込み方法)が分かりやすくなるように、()の部分の見出しをつける。・(申し込み期限)(イベント日時)(事前説明会の日時)(申し込み方法)(実行委員名)が分かりやすくなるように、()の部分を改行する。

出題の意図と解答例（総合問題 B）

令和 8 年度入学者一般選抜（総合型選抜）試験における総合問題 B の出題の意図と解答例は以下の通りです。

総合問題 B は、英語能力を問う問題（Part 1 と Part 2）と日本語能力を問う問題（Part 3）で構成されており、「言語理解・言語表現の基礎的な能力」を評価します。

Part 1：英文の読解力を問う問題。特に、英語と日本語が併用される状況において、適切に英文を読み解き、日本語の選択肢から適切な解答を選べるか。

Part 2：英作文の能力を問う問題。英語の問いに対し、適切な語句や文法、表現を用い、論理的かつ説得力のある文章を作成できるか。

Part 3：日本語の文章の読解力および日本語の運用能力を問う問題。語彙、文法、内容の理解、論理的な説明などに関する問いに対し、適切な解答を示せるか。

Part 1: Reading Comprehension

問1 ア-C, イ-D

問2 ア-A, イ-D, ウ-A, エ-B

Part 2: Writing

Accurate clocks and watches are needed for everyday life to run smoothly. An example is events that start at a fixed time, such as a movie at the cinema, or a university entrance exam. If clocks and watches were inaccurate, most people would arrive early or late, and either waste time or miss the start of the event. This would cause disruption to other people, or worse. (67 words)

Part 3

問1 ア(A), イ(C)

問2 (C)

問3 (B)

問4 (D)

問5 (B)

問6

AI 技術の発達により、日本語の文章を英語に翻訳することは高い精度でできるようになってきている。しかしその出力は必ずしも正しいとは限らないため、最終的には人間がチェックする必要がある。イーサン・モリックは自著の中で『専門家だけが、より一層能力が向上した AI の作業結果を効果的にチェックできる唯一の存在となる』と述べている。人間として高度な専門知識を獲得するため、学校教育において英語を学ぶことには依然として意義がある。(208 字)